



検査・調査

とうようけん さ こうぎょうかぶしきがいしゃ
東洋検査工業株式会社

所在地／和歌山市出島31-5

TEL.073-471-1311 <https://www.toyo-kensa.co.jp/>

設立／1973(昭和48)年 従業員数／176名(2026年4月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

?モノの 健康診断って何?



**橋やトンネルから遊園地のアトラクションまで、
いろいろなモノが壊れていないか調べます**

みなさんが毎日見ている橋やトンネルなどは、ずっと安全に使えるように定期的に「点検」や「検査」が必要です。私たちは、そういった生活するのにかかせない施設(社会インフラ)や工場の機械、遊園地のアトラクションなどが壊れていないかを、超音波や電磁波などの専門的な技術を使って、壊さずに健康診断(非破壊検査)をしています。



本社



**どんなモノを
調べているの?**



トンネル

トンネルの壁や天井にひび割れや傷みがないかを調べます。事故を防ぎ、安全に車や人が通れるよう点検しています。



化学プラント

化学製品を作る工場の設備を調べます。配管や機械の異常を早く見つけ、大きな事故を防ぎます。



橋

橋の金属やコンクリートに傷や劣化がないかを確認します。毎日の交通を支えるために欠かせない仕事です。



遊園地(アトラクション)

ジェットコースターなどの遊具を点検し、安全に動くかを確認します。安心して思い切り遊べる楽しさを守ります。



石油タンク

巨大な石油タンクに腐食や亀裂がないかを調べます。危険な事故を防ぎ、安全なエネルギー供給へとつながっています。



その他

発電所、製鉄所、上下水道などの社会インフラや、歯車、ピストン、パイプなどの工業製品・部品も調べます。



**石油タンクや化学プラントといった
とても大きな建造物を調べています**

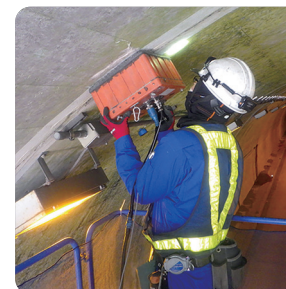


**モノの異常を
どうやって調べるの?**



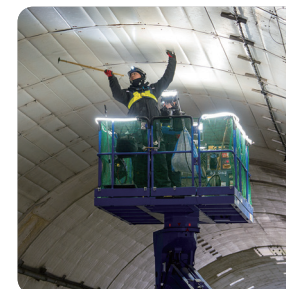
**最新技術と熟練した人の技能で
モノの危険を事前に発見します**

トンネルレーダ調査



電磁波を使って、トンネルのコンクリートの厚さや裏側に空洞がないかを調べています。目では見えない内部の状態を確認できるため、トンネルの劣化や危険を早く見つけることにつながります。

トンネル目視調査



トンネルの壁や天井を目で確認し、ハンマーでたたいた音の違いから異常がないかを調べています。ひび割れや浮きなどを発見し、コンクリートの落下事故や大きな損傷を防ぐ大切な調査です。

地中レーダ探査



電磁波を地面に向けて発射し、水道管やガス管、ケーブルなどの位置や深さを調べています。道路を掘り返さずに確認できるため、安全に工事を進めるために役立っています。

磁気探傷検査



磁石の力と鉄粉を使って、金属や溶接部分に傷や割れがないかを調べています。小さな傷にも鉄粉が集まるため、目では見つけにくい危険を発見できる検査方法です。橋やタンクなどにも使われています。

超音波探傷検査



人の耳には聞こえない超音波を使って、金属や溶接部分に異常がないかを調べています。超音波の反射を利用することで、外からは見えない傷や劣化も確認できます。

エックス線検査



エックス線を使って、いろいろな物の内部の状況を調べます。外からは見えない内部の状態を可視化して確認できます。(この写真は、仏像の中を調べています)

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



和歌山営業所 係長
かみじま たけし
上島 健史さん

Q.この仕事を選んだ理由は?

仕事を選ぶに当たり、資格を身に付けたいという思いがありました。非破壊検査は聞いたことがなかったのですが、調べてみると多くの検査方法があり、それぞれに資格が必要と知りました。資格を取得することで仕事の幅が広がり、自分自身も成長することができると思い選びました。

Q.この仕事のやりがいは?

一人ひとりの責任感と、仲間同士の信用と信頼から生まれるチームワークを大切にしています。建物や橋、石油タンクなどは、定期的に検査することで、事故を未然に防ぎ、多くの人の命を守ることににつながります。人々の暮らしに“安心”を提供できるところにやりがいを感じます。

Q.どんな仕事を担当していますか?

地中レーダ装置を使って地面の中の物を探す仕事をしています。この装置では地面の下に埋まっている水道管やガス管を掘らずに探することができます。同じ装置でも使い方を変えると、下水道管の破損による道路の陥没事故等を未然に防ぐため、空洞を探すこともできます。

Q.この仕事のやりがいは?

地中の見えないものを見つけ出す仕事なので、お客さまが知らない情報を提供した場合や空洞を見つけて事故を未然に防ぐことができた場合など、お客さまから感謝された時や「次回もよろしくお願いします」と言われた時が一番やりがいを感じます。



インフラ技術センター
課長代理
まえだ ひろき
前田 裕城さん